

1泊で行ける！

浜名湖

ひゃあ～
弾丸トリップ

旅の目的さえ決めてしまえば、東京から日帰りの弾丸トリップでも十分に楽しめる浜名湖。レジャーにグルメ、温泉まで、多彩な魅力があるから、あれこれ体験したい欲張りな方にはピッタリの場所。「こんな楽しみ方があったんだ！」と驚く、浜名湖ならではの旅プランをご紹介。



東京からも大阪からも90分!/ ACCESS GUIDE

新大阪駅 from Osaka	名古屋駅 from Nagoya	浜松駅 Hamamatsu	東京駅 from Tokyo
「ひかり」約90分 「こだま」約120分	「ひかり」約30分 「こだま」約45分		「ひかり」約90分 「こだま」約120分



電車での浜名湖の玄関口はJR東海道線「弁天島駅」。目の前には雄大な浜名湖・遠州灘が広がっている。



東京から浜松の間の楽しみといえば、東海道新幹線の車窓から眺められる「富士山」。四季折々、異なる姿を見せる。車窓からの美しい景色も旅の楽しみのひとつ。

ようこそ! 浜名湖へ

Welcome to Hamanako!

浜名湖ってこんなところ!

浜松市が誇る自然界的シンボル・浜名湖は、70.4km²の面積を誇る日本で10番目の大湖。明応7年(1498年)の大地震と津波によって遠州灘とつながり、淡水と海水が混ざり合う「汽水湖」としても知られる。今切口より外海と繋がっているため、湖とは思えないほどの多種多様な魚介類が確認されており、その数は計791種類も。まさに、海の幸の宝庫である。

一年を通して温暖な気候に恵まれ、グルメ、温泉、アクティビティなど、遊びには事欠かない。東京から新幹線で、わずか2時間。浜名湖まで足を伸ばせば、数々の非日常体験が叶うはずだ。

Q 食べておくべきグルメは?

もちろん、旬な海の幸!

浜名湖・遠州灘で水揚げ・養殖される魚介類は必ず食。四季折々、豊かなバリエーションが魅力。その時期の旬な海の幸が、地元価格で味わえるのもうれしい。しらす、どうまん蟹、あさり、天然はも、天然とらふぐ、牡蠣など、リッチな食材が目白押しした。もちろん、名物・浜名湖うなぎもはずせない。



Q 旅のベストシーズンは?

食がメインなら秋から冬がおすすめ

秋冬には、この時期しか味わえない天然とらふぐや牡蠣、三ヶ日みかんなどの味覚がお目見え。温泉を利用するにも最高の季節だ。穏やかな気候の春や秋は、自転車を借りて、雄大な自然を眺めながらの周遊サイクリングを。アウトドア派なら、海水浴や潮干狩り、釣りなど各種マリンレジャーが盛んな夏を狙って。四季に応じて、さまざまな楽しみ方がある。



Q 浜名湖での移動手段は?

気候が良ければレンタサイクルが◎



浜名湖周辺の見所を巡る4つのプランが人気。
【遠鉄タクシー】 053-472-3125 ※要予約
<http://www.entetsu.co.jp/taxi/tourism/seasons/>



レンタサイクル「ゆ~りん」

自転車のサイクルいいろり! 子どもから大人まで、安心。弁天島海浜公園・館山寺・気賀駅ターミナルでは、クロスバイク、ミニベロも選べる。

料金(1日): 大人500円、小学生以下300円(弁天島海浜公園ターミナルは大人510、小学生以下310円)
保証料: 1,000円 ※借りたターミナルへ自転車を返却の場合は保証料返金。
他ターミナルでの乗り捨ての場合は、保証料をお返しきれません。利用時間は各ターミナルで異なります。
(浜松市内のゆ~りん)
●弁天島海浜公園ターミナル 053-596-4187 ●氣賀駅ターミナル 053-522-4720
●諸園ターミナル 053-592-1525 ●三ヶ日駅ターミナル 053-525-0102

知っておきたい

浜名湖
伝説

助けて
なのじゃ!

浜名湖はダイダラボッちの手の跡!?

全国各地であらゆる言い伝えが残る巨人“ダイダラボッち”。琵琶湖の土を運んで富士山を作ったという話は有名だが、実はこの浜名湖も巨人が作ったという神話が語り継がれている。遠州の山奥に住んでいたダイダラボッちは、気はやさしいがとてもいい大男。ある日、子どもたちを手にのせて遊んでいたところ、よろけて子どもたちを投げ出しまった。その時、転んでついた手の跡に、子どもたちとダイダラボッちの涙がたまり、「浜名湖」ができる、という言い伝えだ。浜名湖の形状は、確かに、手の形にもみえる。